

## 2026年4月に新たな学部・学科を開設！ 国際色豊かなキャンパスで学生の可能性を拓く

本学は創立者池田大作先生によって設立され、価値創造（創価）を実践する「世界市民」を育むことを目指しています。この理念に沿って、学生一人ひとりの可能性を最大限にひらく、「人間教育」に力を入れています。

### 外国籍教員の比率が高く 国内では第3位

開学以来、海外研修や留学プログラムも積極的にすすめてきました。交流校はモスクワ大学や北京大学など世界有数の大学

を含め、世界70カ国、272校にのぼります。海外からも毎年約450名以上の留学生が来ています。

外国籍教員も多く、その比率は「QS世界大学ランキング2026」国内3位です。国内にいながら異文化理解が広がる環境が整っていると、今年初めまでの実績が評価され、今年初めて同ランキングにランクインし、国内順位では43位タイとなりました。また、私立大学では2校目となる「ユネスコスクール

ル」への加盟が承認されました。

予測不能な社会の中で、これからはますます、何が起きても柔軟に対応できる力、さまざまなことを受け入れる受容力が大事になります。異なるバックグラウンドを持つ学生同士から多様な考えを学ぶこと、また、現場の生の声から社会の動きを肌で感じる、こと、などの経験は卒業後の生きていく力につながる

### 社会のニーズにこたえるため 学部学科をアップデート

2026年4月には理工学部を拡充し、「グリーンテクノロジー学科」「生命理工学科」「情報システム工学科」の3学科に、経済学部と経営学部を融合し、「経済経営学部ビジネス学科」となります。学部・学科新設により、学生たちにはこれまで以上に、社会のニーズに沿った学びを提供いたします。

さらに、教育学部教育学科は、



中央教育棟には学生の学びを多面的にサポートする「SPACE」が設けられている。

「心理・教育学科」へ、法学部法律学科は「法律政治学科」へ名称を変更します。開設以降、様々な分野へ人材を輩出してきた実態を踏まえ、学科名から学びの特色が想起できるようにして、今後も多様な分野で活躍できる人材の育成に力を入れてまいります。

研究を通じての社会貢献も大学の使命です。本学の糖鎖生命科学システム融合研究所(糖鎖研)による「糖鎖<sup>※</sup>の研究」がその一つ。糖鎖はDNAやタンパク質に次ぐ「第三の生命鎖」といわれ、おり、老化、認知症、がん、希少疾患や感染症に関する治療法や予防法の開発につながると思われています。糖鎖研は文部科学省が認定する共同利用・共同研究拠点「糖鎖生命科学連携ネットワーク型拠点」として、国内外の研究者が連携・協力し、生命科学の分野をリードする先端的な研究を進めています。



鈴木美華 学長

すずき・みか／1986年、創価大学法学部卒業。87年司法試験合格(弁護士)、98年、アメリカニューヨーク州司法試験合格。創価大学法科大学院教授、法学部教授、法学部長、副学長を歴任。2025年3月31日より学長に就任。

